



2019・7・21

第 345 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

「有志連合」名目の海外派兵拡大を許さない

米が関係国集めて参加を迫る

米國務省は19日、中東ホルムズ海峡などの安全確保を目的とする「有志連合」結成にむけた新構想「海洋安全保障イニシアチブ」について、関係国の外交団への「説明会」を開き、「有志連合」への参加を求めました。そこでは「ホルムズ海峡を通る原油は、大半がアジア向けだ。同じ目的意識を持つ国々がそれぞれの役割を果たすことが重要だ」としています。そのため、「有志連合」は、「艦艇による警戒監視活動の強化によりイランの攻撃を抑止する」ため、米が主に指揮統制や警戒監視などをおこない、自国の民間船舶を護衛するかどうかは参加国の判断によるとしています。

この日の会議に出席した日本は、米国とはすでに連絡をとりあっており、何らかの形の参加を検討していることは確実です。

しかし政府はこれまで「武力行使の目的で武装した部隊を他国の領土、領海、領空に派遣する」海外派兵は、「自衛のための必要最小限度を超えるものであって憲法上許されない」（80年答弁書）との立場から、自衛隊を海外に出す場合は、当事者が紛争停止で合意している場合や、戦闘地域から離

れた場所での後方支援に限定するなどのタテマエをとっており、イランの武力攻撃阻止を前提とした今回の場合にはあてはまりませんが、この間には戦争法も制定されており、どういう口実を使うか分かりません。

自衛隊の海外派兵の新たな拡大を許さない先制的たたかいが必要です。

『「貢献」の方法考える』と公明党

公明党の斉藤鉄夫幹事長は14日のNHK番組でアメリカの「有志連合」構想について、「ソマリア沖での海賊対処法に基づく自衛隊派遣は一つの例になる」と述べ、他党の議員から「海賊対処法の対象は海賊だ」と反論されると、「もちろん、この法律を使うのは無理だが、これらを参考にしながらわが国の貢献のあり方を考える」と、何らかの「貢献」をする考えを示しました。

首相、公明候補の応援は憲法に触れず

改憲を自民党の参院選公約に掲げた安倍首相は、各地の街頭演説で改憲を訴えてまわり、14日には広島県と兵庫県での選挙区候補の応援演説でも、「違憲論争に終止符をうつため、憲法に自衛隊明記を」（参院選は）憲法を議論する候補者を選ぶか、審議

すらしな候補者を選ぶかを決める選挙だ」などと野党攻撃を繰り返していました。

ところが兵庫選挙区で自民党候補の10分後におこなった公明党候補の応援演説では、改憲にはまったくふれていません（11日の福岡での公明党候補の応援演説でも同様）。

公明党への配慮であることは明らかで、身内なら憲法問題への姿勢をあいまいなまま参院選を切り抜けようとすることを黙認するという身勝手ぶりです。

今後の運動に確信と展望

【静岡県／9条の会・浜松地域連絡会】

1、「浜松地域連絡会」発足とその後の経過…2008年8月、約20の浜松市内の9条の会参加で結成。「各会の活動・経験交流、情報交換を」とスタート。現在発足後10年以上の経過のなかで、代表などの高齢化に伴う活動の停滞と会そのものの維持や連絡会会議への参加者の減少などの困難さも抱えている。

2、会の運営と活動…連絡会会議は各会が自らの活動を活性化することを基本に、年に1回連絡会の総力をあげて市民にアピールする企画を実施。その他全県9条の会共同の「新聞意見広告」活動や毎月9の日3000万署名活動などの「9の日行動」に参加している。

＜公示後に学習会＞…開催日はたまたま公示後となった。今回の学習会設定の問題意識は、「安倍9条改憲」に反対する活動を全国の運動と呼応し、継続し、2019年国会改憲発議をくいとめてきたが、今後改憲側の参議院選挙後のねらいを正確に把握し、反対する側としての戦略や目標をさらに鮮

明にしていくこと、その理解を深めて参院選取組のエネルギーとしたい、という想いであった。この考えは現在の参院選での政権側の意図的な改憲論議をみたとき適切だった。ただ、今回の企画が急な取り組みとなり、選挙公示後、しかも夜間の開催という制約のなかで、参加者確保が難しく、各9条の会など関係者の参加・協力の点では反省し総括すべき点もあったが、参加者の感想などをみると、様々な制約を乗り越えた参加者に確信をもたらした講師の熱演が決定的でした。当面する参議院選挙での結果で応えることが主催者としてまずやることかな、と受け止めています。

＜講演についての参加者の反応＞ 参加者推定70名。アンケート提出者21名。5択の内、「とても良かった」、「良かった」が合計18名で回答者の90%。このことは、参加者も今回の企画を支持してくれたことを示していたと考えていいと思います。

＜主な感想から＞ ○「野党は一本化出来るか？」に渡辺先生からの返答、「政党の一本化とはならないが統一候補として共闘できる」に大変感動し感謝している。○選挙で色々用事に追われ今日はどうしようかと思いましたが来て良かったです。安倍政治に終止符をうつため、明日からがんばらねば。○時機に合った講演でした。

上記の感想からは、緊急ながらも開催してよかったかなと受け止めています。

（浜松地域連絡会事務局 那須田記）

9条改憲とセットの緊急事態案

【神奈川県厚木市／あいこう・ふなこ9条の会】 6月15日（土）午後2時より、

愛甲公民館集会室で、あいこう・ふなこ 9 条の会13周年「講演と音楽のつどい」をおこないました。

第一部は東海大学教授・永山茂樹さんの講演、第二部は今回で4回目の出演となる赤池美礼さんのヴァイオリンと佐藤裕美さんのピアノ演奏です。「夏は来ぬ」や「夏の思い出」など日本の歌も入り、クラシックの曲と合わせて堪能しました。

永山茂樹さんは「安倍 9 条改憲を阻止する理由と方法」とのタイトルで講演しました。

「自衛隊が違憲といわれる中、自衛隊員に命をはってくれとは言えない」は安倍首相がよく使う言い回しです。同盟国（主にアメリカ）が始めた戦争に、日本の自衛隊が参加する仕組みは2015年の安保法制（戦争法）ですでにつくられています。自衛隊員のためといいながら、自衛隊員の命をそまつにする本音があらわれています。

9 条改憲のハードルは高いと見た安倍首相は「戦争をしやすい国」づくりのためのしくみをどう作り上げるかを考えていて、それが自民改憲 4 項目の中の「緊急事態条項」だと述べました。

緊急事態条項は、大災害発生時など「国民の保護」のために、予算も含めた全ての権限を内閣総理大臣に集中させるというものです。改憲項目に入れたのは、次のような理由だと指摘しました。

- 緊急事態であれば人権の制限ができる。
- 地方自治権の制限ができる。
- 国会議員選挙を無期延期できる＝議会制民主主義の停止。

「緊急事態条項」を手に入れば、戦前の

治安維持法と同様、人権無視、9 条改憲反対など国に異を唱える発言や行動を萎縮させ、抑え込むことができます。（「あいこう・ふなこ 9 条の会」ニュース148号）

“九条変えるな” は共通の思い

【秋田県／あきた女性九条の会等】 あきた女性九条の会、新日本婦人の会秋田支部等は9日、秋田市の JR 秋田駅前で「9 の日」宣伝・署名行動を行いました。

3000 万人署名への協力、核兵器廃絶、陸上イージス配備反対をそれぞれ訴え、ビラなどを手渡し対話しました。

60 代の男性は「国民の税金から給料をもらっている秋田県選出の自民党の現職国会議員が、陸上イージスについて一言も言わないのはどういうことだ。参議院秋田選挙区に立候補している自民党現職はイージスに 1 言もふれないことに憤りを感じる。本当に許せない」と怒りをぶつけました。

別の女性は「憲法 9 条は変えるべきではないと、みんな話しています。『憲法をいかに政治に変える』はその通り」と賛同。

「これから期日前投票に行きます。選挙区は野党統一候補に入れる」と語る女性もいました。

映画会で平和への思い新たに

【神奈川県厚木市／あつぎ・九条の会】

6 月 9 日午前 10 時から地域の公民館を利用して映画会をおこないました。毎回、映画会の 2 カ月程前に月 2 回発行している公民館ニュースに映画会の紹介をお願いしています。参加された 40 名のうち多くの方が、公民館ニュースを見て参加されました。

今回の映画は、先の戦争で孤児となり、結核を患い防空壕に隔離されてしまった「ムッチちゃん」の短い生涯を描いた作品「ムッチちゃんの詩」です。

映画会では毎回「安倍9条改憲NO!」と「核兵器廃絶」の署名を用意しています。

今回、映画会に初めて参加されたほとんどの皆さんが署名をして下さり、「安倍9条改憲NO!」が22筆、「核兵器廃絶」26筆集まりました。

映画の内容がよかったこともあり、署名以外にも「あつぎ・九条の会」入会2名、カンパが3650円集まりました。

アンケートにも「戦争は絶対にしてはいけない」という感想が多くあり、改めて平和を考える機会となりました。(大友三昭「あつぎ・九条の会」7月)

結成から14年を振り返って

【東京都江戸川区／九条の会・葛西】 結成から14年経ち、賛同者の方も1000名を超え1191名になりました。これまでの足跡を振り返ってみたいと思います。(中略)

3、この間の活動について

①憲法学習会・戦争体験を聞く会・映画上映会・ピースウォーク・「平和のための戦争展」への参加…。

以前に比べ、国会前行動などの全国・全都的な行動が多くあり、区内でも「九条の会江戸川連絡会」や「戦争させない江戸川の会」主催の活動が増えており、一緒に活動をよびかけています。

②「九条の会葛西だより」の発行。2006年9月より月1回の発行。現在は148号。財政上の問題もあり、現在は区内の新川以南

の地域の賛同者には手配りをしています。

③駅頭宣伝活動。賛同呼びかけや「戦争法廃止」「安倍9条改憲NO!」の署名活動を毎月2回、9日葛西駅と19日西葛西駅で行っています。

(「九条の会・葛西だより」148号)

夏休みと自衛隊

【京都市西京区／樫原9条の会 M】

もうすぐ夏休み。

8月には例年、自衛隊・桂駐屯地で「夏休みちびっこ大会」なるものが催される。小学校4年生から中学校3年生までの子どもを対象に、応募者の中から200人ほどが抽選で招待されるという。

オリエンテーションの中で、自衛隊の敬礼の仕方、ロープワークなどさまざまな体験に“親しみ”、戦車の前でニツコリ記念撮影もできる。また「納涼夏祭り」での打ち上げ花火は、地域の子どもや親たちの楽しみになっている。自衛隊ではたらく人たちがまた、誰かのお父さん、お母さんであり、誰かの子や孫だ。

この自衛隊を、憲法9条に盛り込むのが自民党の改憲案だ。いずれ「自衛軍」となり、戦地に行くことになるかもしれない。

近年、京都もふくめ全国各地で多発する災害で、自衛隊員が大いに力を発揮したことはみんなが知っている。「誰かの力に」と災害現場にかけつけ、日夜、奮闘されたことだろう。この人たちが、真っ先に戦地に行く。自衛隊って、なんだろう。そのことを思うと、私にはのどかで楽しい花火には見えない。

(「樫原憲法9条ニュース」41号)